

熱中症対応マニュアル（職員・利用者向け）

株式会社 C-コネクト

第1章 総則

(目的)

本マニュアルは、株式会社 C-コネクトの職員及び利用者の安全と健康を守るため、熱中症の予防及び発生時の適切な対応を定めることを目的とする。

第2章 予防対策

1. 水分補給：定期的に水分を摂取するよう指導する（目安：1日1.2リットル以上）。
2. 塩分補給：必要に応じて経口補水液や塩飴を利用する。
3. 環境管理：室温28℃以下を目安に冷房を使用し、換気を行う。
4. 服装：通気性のよい服装を推奨する。
5. 日常観察：高齢者や持病のある方については職員がこまめに体調確認を行う。

第3章 チェックリスト（職員用）

- 利用者に水分摂取を促したか
- 屋内の室温・湿度を確認したか
- 外出時に帽子や日傘を使用しているか
- 利用者の顔色・発汗・言動に異常がないか
- 職員自身も適切に休憩・水分補給を行っているか

第4章 緊急時対応

1. 症状の確認：めまい、吐き気、頭痛、意識障害などの有無を確認する。
2. 応急処置：涼しい場所へ移動、衣服をゆるめ、体を冷やす。
3. 水分補給：意識がある場合は水分・塩分を補給する。
4. 救急要請：意識障害や重度の症状がある場合は直ちに119番通報する。
5. 家族連絡：速やかに家族（キーパーソン）へ連絡する。

第5章 職員向け留意事項

- ・ 訪問介護・訪問看護時は車内に長時間留まらない。
- ・ 屋外サービス時はこまめに休憩を取り、交代を行う。

熱中症発生時は速やかに管理者・チーフに連絡し涼しい場所に移動し体を冷やす。

次の業務がある場合は上長に伝え調整してもらい指示を受けながら体を休める。

上長は必要に応じて救急対応を行い、ご家族（キーパーソン）へ連絡する。

対象者は後日、必ず事故報告書を作成し、管理者へ提出する。

第6章 研修・周知

1. 毎年5月～9月の間に熱中症予防研修を実施する。
2. 利用者及び家族、職員に向けて注意喚起を行う。